

高信頼性ICタグ

狭いところほどRFID

無線で物を認識するメリットはたくさんありますが、バーコードと比べて、狭いところの認識は得意な分野の一つです。たとえば、基板が密集しているようなところではバーコードのような光学系での認識は難しいところです。

よく、RFIDとかICタグとか言われるものは対象物にこれらを付着することによりその機能を発揮します。本来、これらは小さなチップとアンテナにより構成されるものです。狭いところというとこのRFIDやICタグが小さくできるからというふうに理解されます。

それはそれで十分正しいのですが、リーダのアンテナも小さくできるからという捉え方も大事と思います。アンテナはプリント基板上に従来技術により簡便に形成できますので、バーコードリーダのような複雑な光学系は不要です。

(株)R&Vはお客様のご要求に合わせて、RFIDすなわちICタグとそのリーダをカスタマイズしてご提供する会社です。是非ご検討いただきたくお願い申し上げます。